

# 鯨城ニュース

第 23 号

平成24年11月発行

ホームページアドレス <http://www.kojyokai.net/>

発行/名古屋市高年大学鯨城会

編集/広報委員会



**特集** 各区のボランティア活動状況

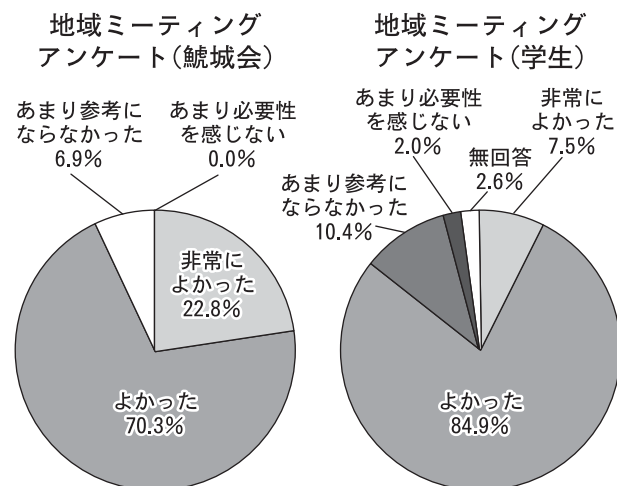
# 「地域ミーティング」について

教授 喜多島 慎



本学園の設立の趣旨である「高齢者の生きがいづくりと、地域活動の核となる人材の養成」をより一層実現できるよう、鯉城会や社会福祉協議会のご協力を得て、本年度より「地域ミーティング」を始めました。この企画は、在学中の2年間に、入学後、1年2学期、2年1学期と計3回行い、地域リーダーに必要な知識やスキルを修得し、さらに、鯉城会・区会や区社協の活動を理解し、顔の見える関係づくりを行い、卒業後の地域活動をより円滑に、より活発に行っていただくことを目的としています。第1回の入学式後のアンケートでも鯉城会、社協とも有効な企画であるとのご意見をいただきました。6月の2年生対象実施後のアンケートでも右記のような結果をいただいております。今後とも、

鯉城会の皆さんのますますのご協力をお願いします。(アンケート一部掲載)



## 言 霊 (ことだま)

26期学生会会長 山中 諒 一

24年度の学生会標語は、生活学科提出の「続け鯉城学園、輝けシルバーの力」最優秀。

私達シルバー世代は、学園で学んだことや仲間と語り合い、気づいたこと等から、これからどう生き抜き輝く人生とすることができるだろうか？最近の政治経済はもとより、日本のめざす方向が混沌としている時、シルバー世代には、社会貢献活動が期待される社会となりつつある。鯉城学園では今年度から「地域ミーティング」の授業が開始された。これからの地域社会（名古屋市）における集団力が必要と考えるからであろう。この授業で、区内の学園卒業生の存在を知り、先輩方の活躍ぶりがあった。そして在校生は、卒業後の地域社会とのかかわりを考える良い機会となり有意義であった。

最近の各種集団における人と人とのかかわりの希薄さや、ボランティアリーダー不足を感じる。私たちは、「人生は尽生」となるよう10万時間を有効にして、言霊を大切にしたい毎日としていきたいものである。

### 目 次

表紙 熱田神宮 舞楽神事(ぶがくしんじ).....	1
「地域ミーティング」について .....	2
言霊(ことだま).....	2
「高年大学鯉城学園あり方提言」の要旨について .....	3
鯉城・堀川清掃大作戦 .....	4
鯉城会・鶴舞公園クリーンキャンペーン .....	5
特集 各区のボランティア活動状況(16区) .....	6~21
第26回公開講演会 公開講演会を終えて .....	22
納涼健康講座「イキイキ健康・いきいき長寿」の開催報告とお礼 .....	23
納涼健康講座を聴講して .....	23
第8回鯉城会グラウンド・ゴルフ交歓会成績表 .....	24
平成25年度 鯉城会会長立候補届について .....	24
鯉城学園図書室のボランティア活動と図書寄贈 .....	25
表紙説明/訃報/編集後記 .....	26
第27回 公開講演会(予告) .....	27
第3回 鯉城OB文化祭(予告) .....	28

# 「高年大学鯨城学園あり方提言」の要旨について

鯨城会会長 寺 田 耕一郎

平成 24 年度も早いもので過半年が経過いたしました。会員の皆様の絶大なる協力によりまして、本年度計画いたしました事業も順調に進捗いたしております。さて、本年度最重要課題として位置付けました、鯨城学園の存続問題であります。現時点においては年度当初想定いたしました範囲内で進んでいると考えます。その論拠とすることは二点あります。一つは指定管理者たる社会福祉協議会（以下「社協」という。）の学園見直しの動きであり、二つは学園のあり方について市長が社会福祉審議会（以下「社審」という。）に諮問し、見直しの上存続、との答申が見込まれるからであります。社協に設置されましたあり方検討委員会は 8 月 11 日最終報告書を決定、当月末市健康福祉局長に提出説明いたしています。私も委員の一人として策定に参画いたしました。が、学園自ら身を切る覚悟と鯨城会の一層の社会貢献が求められています。本稿では最終報告書中改革五策のうち鯨城会に関する部分の要旨について敷衍します。

## 1 在校生に提供するプログラムの充実

市・区鯨城会と協働し、在学時に地域活動に参加するプログラムの導入

- 内容的には、在学時に地域活動に参加のきっかけを作るとともに、地域活動に取り組む自主性を高め、在学時からの鯨城会とのつながりを作ることにより、卒業後の鯨城会加入の足掛かりとすることがねらいです。

平成 24 年度から実施している地域ミーティングを活用し、市・区鯨城会との協働により、在学時において地域活動に参加するプログラムを作成し活動を進める。

## 2 卒業生の活躍を支援する体制を強化

### ① 市・区鯨城会と協働し、卒業生の地域活動参加支援体制を整備

鯨城会は全区において組織化されており、他都市の類似の大学の OB 組織等と比較しても加入率が高く、地域活動も活発に行われています。そこで市・区鯨城会と協働することによって卒業生の「地域活動・ボランティア活動をしたい」といった相談に応じ、活動に結びつける。

#### ○ 体制整備例

- ・ 鯨城会主催による「地域活動・ボランティア活動講座」等の開催
- ・ 学園内への鯨城会の事務局開設（施設の占有使用許可）
- ・ ボランティアセンターの学園との協働運営
- ・ 鯨城会の財源確保（鯨城ホール管理の請負等）
- ・ 鯨城会の法人化

### ② 卒業生による「クラスサポーター」の導入

卒業生がクラスの運営や意識共有、合意形成、クラス活動のサポートを行なうことによって安定的なクラス運営を図るとともに、卒業生の知識やノウハウを在校生に提供していく「学びの循環」の一環とすることをめざします。

以上が鯨城会に直接する関係する要旨ですが、重要で示唆に富んだ内容です。なお、詳細につきましては社協のホームページをご覧ください。

二つ目の「社審」の動きであります。実はこの動向が決定的に重要であります。本稿が会員の皆様のお手元に行き届くころには、答申済みのはずです。内容は冒頭でも少し触れましたが「抜本的な見直し」、あるいは廃止と判定した外部評価に耐えうるような「出直しの見直し」との条件が付されると想定されます。最終判断は首長の判断となりますが、年明けになると考えています。鯨城会並びに学園は一致団結、存続に向けて粘り強く万策尽きるまで頑張ろうではありませんか。

# 鯨城・堀川清掃大作戦

鯨城・堀川と生活を考える会 代表 宇佐美 亮 吉



清掃前の盛大なセレモニー

私達、鯨城・堀川と生活を考える会は、鯨城学園・環境学科OBで組織している、堀川浄化のボランティア団体です。

7月14日私達は、堀川上流から下流までの一斉清掃「堀川清掃大作戦」を初めて実施しました。最上流の元杖樋門から最下流の港新橋まで16kmと、名城公園、宮の渡し公園、広小路通りを含め7拠点に分けて清掃しました。

この活動には鯨城学園、鯨城会、学生

会のご賛同、ご協力を頂き、初めてオール鯨城での堀川清掃が実現し、参加人員770名のイベントとなりました。

当日は前夜の降水確率50%予報から一転して梅雨明けとなり、真夏日での活動となりました。9時30分納屋橋シャムズガーデンにて中央集会開催、ご来賓の名古屋市副市長、入倉様、1000人調査隊委員長、梅本様から激励のお言葉を頂き、10時に7拠点一斉に清掃をスタートし、緑色、黄色、橙色、青色と、参加団体の、ベストが華やかに彩り、したたる汗を拭きながらの堀川で集めたごみ量は、可燃ごみ134袋、不燃ごみ61袋、合計195袋と、溢れんばかりのごみの山となりました。

今回は、赤十字救急奉仕団様に各拠点に2名、合計14名、待機頂き、活動に専念でき感謝しております。

又、テレビ局4社、新聞2社の取材を受け鯨城学園をPRでき、私達の目的は達成されたと思います。

ご参加、ご協力の皆様有難うございました。

(22期・環境)



さあ～頑張ろう！と一斉に清掃現場へ

# 鯨城会・鶴舞公園クリーンキャンペーン

## オール鯨城でクリーンパワー発揮

社会奉仕活動委員長 高橋修身



清掃活動風景

好天気さわやかな秋の一日。10月6日（土）鯨城会主催「鶴舞公園クリーンキャンペーン」を実施。学生会（26期・27期の在校生）、鯨城学園教職員、そして我ら鯨城会の三位一体となったオール高年大学が集い、参加者は520余名にのぼり、公園及び周辺歩道で清掃活動に励みました。

当初計画では、全体で400名参加の予定でおし進めました。ただ、火バサミは4月に市役所の地域振興課へ申し込む時、大きくサバを読んで500本とお願いしました。予定人員400名とはいっさい言わず……もし100本

余ったらどうしようかと思ひながら。

当日は、各区からのなつかしい同級生、先輩、後輩との“お久しぶり”の声々。在学中から密かに想っていた人との心ときめく出会い……という人もいたかも……。今回のクリーンキャンペーンも無事終え担当者としてホッとしました。

成果？は、ゴミ袋（大）で合計140個ありました。季節がら落葉、枯れ枝等が圧倒的に多かったです。自転車の車体と車輪2本がバラバラになった物もありました。おかげさまで公園のクリーン化に一段と役立ったのではないかと思います。

こうした行事、一堂に大勢の同窓生が集まっての出会い、力の発揮の場、準備は大へんですが、年に一度はあってもよいと思います。いろいろと準備不足などで不十分な点が多々あったのではと思います。今後のためにも遠慮なくご意見をいただけたら幸いです。

先ずもって参加者の皆さま、そして学生会、学園、各関係鯨城会の役員の皆さまのご協力に深く感謝いたします。ありがとうございました。（10月7日、中日新聞社に写真付記事掲載）

（23期・福祉）



清掃活動風景



セレモニー前集合風景



## オレンジベストの集団

—北区— 北鯨城会

社会奉仕活動委員長 武藤英男

北鯨城会のベストはオレンジ色で、背中に“北鯨城会”と黒字で書いてあり、遠くからでもとても良く目立ちます。

春の名古屋市一斉クリーンキャンペーンでは、42名の会員がこのベストを着こんで、御成通を上飯田から彩紅橋まで、4ブロックに分けて清掃ボランティアをしました。

店の人や街行く人、車のドライバーに「おじいちゃんやおばあちゃん達が清掃をしてくれているよ!」と大いにアピールできたと感じています。

幹線道路における歩道の花壇は、実にいろいろなゴミがあり、各ブロックとも3種類のゴミ袋が一杯になりました。

曇り空で蒸し暑かった日でしたが、全員、無事清掃ボランティアを終え、飯田小学校へ戻り、ゴミの仕分けをしてから解散となりました。



「オレンジベストの集団」集合風景



御成通の清掃ボランティア

長年続いている月2回の名城公園の清掃や秋のクリーンキャンペーンなど、これからも清掃ボランティアが続きますが、一人でも多くの会員に参加をしていただき“オレンジベストを着こんだ集団”が、元気に清掃ボランティアの出来ることを願ってやみません。

なお、現在、北鯨城会では「私のボランティア活動」と題して、会員個人がやっておられるボランティア活動の種類や内容を集約しつつあります。

会員の皆さんが、どのようなボランティア活動をやっておられるのか？また、その人以外の会員が参加できるのか？などなど、社会奉仕活動委員会として情報を集め、整理をし、それを生かして会員相互の親睦に役立てられないかと考えているところです。

(24期・健康)



# 花水木鯨城会(千種鯨城会)のデイサービス

—千種区— 花水木鯨城会

社会奉仕活動委員長 佐野 匡 司

活動の歴史は古く、平成11年5月に千種社会福祉協議会が在宅サービスセンターでサービスを開始した同年、9月から始まりました。

当初の活動は、現在の体系と異なり、毎週1回、火曜日に行っていました。その時の季刊誌に副会長木村 勇氏の言葉があります。「小さな火ではありますが、高齢社会の中で私共健康な者はいかにして奉仕の精神をもって、少しでも役に立てるか」。その精神は今日でも社会奉仕委員に脈々と受け継がれています。現在今年入会された25期生も含めて、54名が毎週月曜から金曜まで(祭日も休みなし)毎日2名から3名が無報酬でボランティア活動をして頂いています。内容は、午前10時から12時まで、デイサービス利用者(25名から35名)へのお茶だし、入浴後のドライヤーと整髪、話相手になるなどのお手伝いです。やってみると、これが意外に難しいのです。相手とのコミュニケーションが上手く取れないと、いくら熱心に行っても、

相手に喜ばれなければ、結果はゼロです、いや、マイナスかもしれません。でも嬉しそうに、「アリガトウ」と言われた時は、本当にやりがいを感じます。また、今年3月から主に上記デイサービス利用者向けにコーヒーサロンの開設準備を進め8月より月1回、1階会議室で開設しました。皆様の協力により、大変好評でした。今後も高齢化は進み、ボランティア活動の需要は増す一方でしょう。皆で支えあって生きる、そんな地域にしたいと思います。



サンタクロース派遣活動

## その他の主なボランティア活動

### 1. 茶屋ヶ坂公園の清掃活動

茶屋ヶ坂公園の清掃は、平成3年12月から始まり21年目に入りました。毎月2回第1と第3日曜日に行っています。参加者は、全会員を6班に分けて、年4回のローテーションで行ってききましたが、本年より地域会が、立ち上がり、各地域が順番に月2回を担当することにしました。そのためか参加者の減少現象が改善され、以前の約2倍となりました。

この公園は、団地の近くの丘の上であり、車の心配も無く、子供連れの方や、学童たちの絶

好の遊び場所です。怪我などされないようにと気を配りつつ、清掃活動に力が入ります。

### 2. 子育て支援活動

14学区へのサンタクロース派遣は12月に社会福祉協議会より要請があり、昨年は34名が参加しました。入園前の子供が対象で大変人気があり、サンタになりたい方も多数です。

### 3. 赤い羽根共同募金

この活動も社会福祉協議会からの要請により、街頭募金活動を行なっています。

### 4. 全市一斉クリーンキャンペーン

千種区役所の「まちづくり推進室」が企画した行事に17名が参加、また同日他の学区の清掃に多くの花水木鯨城会員が参加しました。

### 5. 鯨城会主催のクリーンキャンペーン

10月6日鶴舞公園清掃に22名参加予定

### 6. 他に図書管理、区民祭り、児童館支援

心の絆創膏 派手な活動ではありませんが皆様のボランティア精神に助けられながら、続けていきたいと考えています。(24期・環境)



名古屋市一斉クリーンキャンペーン



# 「なごやかハウス出来町」でのボランティア活動の状況

—東区— 東鯉城会

社会奉仕委員長 松田 榮作

## 喫茶サービスについて

施設は市内中心部近く、JR 大曾根駅から南に 700m 位置しバス、地下鉄、名鉄等アクセスに恵まれた所に有る施設です。特別養護老人ホームとショートステイ合わせて約 60 人が入居しています。私達はここで長年にわたり、第 2、第 4 火曜日の月 2 回、喫茶サービス（13:30～15:30）を行っています。毎回 8 人程度がこのボランティア活動に参加しております。

コーヒー、紅茶、ココア、アイスクリーム、汁粉（冬限定）等の注文を聞き、抽出等し、運ぶ、砂糖やミルク等の希望に応じ入れる、特に誤飲の恐れ有る人にはトロミを付ける、熱い飲み物がダメな人には氷を入れて調整している。食べられない方に食べさせることも有ります。食品を扱う事から手洗い消毒、自身の健康管理に留意しながらボランティアに励んでいます。



他にデイサービス（通所介護）のお手伝いとして（夏冬で数日程度）夏祭り（8 月）、餅つき大会（12 月）、タコ焼き、飲み物等配り、ゲーム（射的、金魚すくい等）餅つき（黄粉餅、あんこ餅）わらび餅作り等も行っています。

また、東鯉城会では、喫茶サービスの他、毎週 1 回、この施設の階段、廊下、ホール等の清掃ボランティアも行っています。



「なごやかハウス出来町」ボランティア活動

## 鯉城・堀川清掃大作戦に参加して

「うさぎ追いかの山 小ぶな釣りしかの川、日本一汚い堀川を私たちの手で生まれ変わらせよう。自然を守り子供達が安心して遊べる堀川にしましょう」と書かれた立て札が納屋橋の下流天王崎橋に掲げられている。

7 月 14 日（土）清掃当日 午前の降水確率 40% 以下。東鯉城会清掃参加者 12 名は、中央会場の第 4 拠点・納屋橋シャムズガーデンへ。



鯉城・堀川清掃大作戦

来賓の方々、オール鯉城のメンバー 170 余名が集合、社会貢献、学園の PR、学園の存続を訴え、マスコミ各社の取材の中、安全を誓い清掃開始。各々が軍手に火挟み、ゴミ袋を持ち真夏の太陽の下を納屋橋から堀川の左岸を 1.5km 下流の、松重橋へと向かった。当初は、話をしながら、次第に暑さも有り全員無口に、ただ黙々とゴミを拾う。

煙草の吸殻はいたるところに、空き缶、ペットボトル、紙屑は駐車場、植込みの周辺、新洲崎橋の小公園に散乱していた。

清掃開始から 1 時間半、心配していた熱中症にもならず全員無事清掃作業を終えた。

第 4 拠点全体では、可燃ごみ 44 袋、不燃ごみ 12 袋と大量のごみを収集した。

堀川に清流を取り戻すためには、行政の力は勿論であるが、市民一人一人の意識・マナーの向上が必要と感じた 1 日であった。

（23 期・環境）





—西区— 西こじょう会

## 西こじょう会のおもちゃ病院を訪問して

ボランティア担当 陸 浦 幹 雄

おもちゃ病院は毎月第3日曜日に山田支所3階の図書館集会室で、午前10時から午後1時まで開催されています。

集会室の入口におもちゃ病院の立て看板があり、中では道具を出して話し合っておられる。私は西こじょう会の陸浦です…声をかけた。すると26期岩尾さんが私を見て、代表の21期杉本さんを紹介して頂きました。

杉本さんとは2回目の対面ですが薄らと記憶があるだけで、でも今日は色々お話しを伺う事が出来ました。

おもちゃ病院設立から西区社会福祉協議会との繋がり、広報の遣り方そして特に強調されていたのは、各ドクターは独自の特技を持っておられる事を話して下さいました。

そんな話をしている時、親子づれ3人が入ってこられ診察が始まりました。おもちゃはトレーラーで運転車とトレーラーの連結各所が外れている。ドクターが手に取って見ると連結部の軸が折れている事が判ったので修理可と云う事で預かる事になった様です。



診察に来たこどもさんとドクター



ドクター達の打合せ風景

そこで聞きました。修理の中で一番多いのは電池切れで次は配線のハンダ外れとの事でした。最後に私の感想を、杉本さん始めドクター、事務員さん達の人柄でおもちゃ病院は益々子ども達の味方となって、社会奉仕活動として貢献されると思います。

どうか健康に留意されて頑張って下さい。

(23期・地域)





## 環境美化活動

地域活動委員長 水谷俊博



JR名古屋駅西クリーン活動

私達、中村区鯨城会は、ハード面の活動、及びソフト、ハードを折衷した活動の2つを主体にやっております。まず、ハード面の活動として、中村区生涯学習センター周囲及び歩道、JR名古屋駅西歩道上の2ヵ所を、定期的、毎月各1回1時間程、在席の2割前後の参加者を得、強力に環境美化活動を永年にわたってやっております。特に生涯学習センターにおいては、樹木が多くあり、会員の中には、プロ級の腕前の庭師の方が大勢おられ、春秋には剪定し大変感謝されております。陽気の良い春秋には活動も容易であります、厳しい暑い夏、寒さ厳しい冬、この厳しい状況を顧みず、先輩諸氏は、熱心できめ細やかに、先頭に立って戴き、活動の指導的役割をやってもらい大いに感謝されております。この2つの活動も、先輩諸氏が一生懸命継続してやってこられた賜物であり、今後も“継続は力なり”の合い言葉に会員の皆さんといっしょに推進してまいります。

(24期・園芸)



## 福祉ボランティア活動

福祉活動委員長 堀井隆子

### 福祉活動委員会

4月～6月の中で雑布回収し、中村社会福祉協議会にて保管頂き、随時ご希望施設へ贈呈下さるよう依頼してあります。

雑布、他 計683枚

7月～8月 ボランティア活動報告

模擬店手伝い 介添え 4施設 11日間 48人

レクリエーション 盆踊り 8施設 3日間 63人

ふれあい会 バルンアート 2学区 2日間 8人

### 定期活動

喫茶室 月2回 専属者 6人

童謡 1施設 専属者 6人

児童館 母子、3才児対象ふれあい 6人

児童館 第7回中村福祉セミナー

“触れて作って遊ぶ” 13人

色々な事を皆さんのご協力で、一日一日を大

切にがんばっています。大変な事がありますが、お手伝い出来る感動があります。社会貢献活動をして、地域社会へのお礼が出来る喜びを感じています。

(24期・健康)



“触れて作って遊ぶ” (児童館)



## 「つくも」ボランティア

—中区— 中鯉城会

社会奉仕活動委員長 青山 幸司

中鯉城会のボランティア活動の代表的な一つとして中鯉城会設立2年目の平成4年以来二十数年間続けられている特別養護老人ホーム「ユートピアつくも」喫茶室で午後のひと時を入所者の皆さんにコーヒー・アイスクリームなどを提供するお手伝いです。

活動内容は、毎週月曜日・木曜日の2日間（祝日は休み、23年度実績は92日）で主に男性は2・3階から1階喫茶室までの車椅子での送迎を、女性はコーヒー・アイスクリームなどの接待サービスを担当します。送迎時や接待時には入所者の皆さんと気軽に話をしながら楽しい時間を過ごし入所者の皆さんから大変喜ばれています。

その他には、中鯉城会として参加している「ボラネットなかまんなか」で毎年実施されて

いる活動①在宅センターの夏祭り（1週間）を交代でかき氷・ジュース等のサービスや東別院で行われる「御坊夏祭り」では車椅子体験コーナー・福祉用品の展示説明を担当、同好会活動として、絵手紙クラブが施設を訪問し絵手紙の講習をしています。



「つくも」ボランティア活動

### 「区内の美化活動」

「つくも」ボランティアと共に重要な活動として行われているゴミ拾いの活動があります。現在は、中区内の栄地区・金山地区を交互に年5回行っています。いずれの回も30～35名程の出席者があり2班に分け午前中の約1時間半歩道と側溝を出来るだけ広い範囲のゴミ拾いが

出来るようにしていますが、毎回集められるゴミは多種多様で多く集められたゴミを選別し終了となりますが何れの回も和気あいあい楽しい活動をしています。

その他には、名古屋市の一斉清掃・鯉城会主催の鶴舞公園クリーンキャンペーンなどに積極的に参加しています。

ただ、名古屋市の一斉清掃の時には各区の鯉城会以外に各町内会・各老人会・各種ボランティア団体が一斉に同じような場所の清掃を行うので大変綺麗になっています。各団体が一堂に会し統一された清掃活動が実施されるようになれば大変綺麗な街作りが出来るのではないのでしょうか。

（24期・環境）



区内の美化活動



## ライトハウスでの陶芸教室

一昭和区一 昭和鯨城会

ボランティア委員長 伊藤 優生

社会福祉法人名古屋ライトハウス内で視覚障害者を持つ利用者の方に、陶芸を教えている廣江昭二様はこの活動を始めてから15年が過ぎます。これも高年大学鯨城学園に通う中で出会った陶芸で、モノ作り、仕上げることの面白さ、楽しさに魅了され、窯を購入するほど、のめり込むことになった。このことがボランティア活動にも役立ち、現在も続けています。ボランティア活動のマナーとして、相手の立場に立って考える、約束を守る、秘密を守る、家族や職場の人たちに理解が得られるようにすることが必要



陶芸指導のボランティア 陶芸教室

であり、廣江様の“無理をせず 長く続ける”をモットーに、自分に合った活動を自然体でさりげなく続ける姿に感銘を受ける。陶芸のあるライトハウスで障害者デイサービスの一環として陶芸教室を1ヶ月5日(月～金)ですが、現在6名で1日2～3名交代でボランティアを行っております。陶芸の指導手伝いは、殆どマンツーマンであり、完成まで2ヶ月程かかります。造られた湯飲みや花器などの作品の一つ一つには、手作りならではの温かみがあふれております。モノを造る楽しみはもちろん粘土を握り、握力を使うことで機能訓練にもつながり、一石二鳥であります。ここでボランティアをしている皆さんはいつまでも若々しく生涯青春で好きなことを楽しんで続けている素晴らしい仲間頑張れと喝采を送ります。この仲間たちは鯨城学園高年大学卒業生で次の人達です。5期廣江代表のもとに21期古池様・24期城戸様・24期亀井様・25期天野様・25期高木様の皆さんです。皆さんも機会がありましたら参加してみてください。

## 土鈴の絵付け教室

ともに生きる地域づくりをめざして第30回昭和区の福祉まつりが平成24年8月19日午前10時より講堂ステージでの開会式で幕あけしました。会場の昭和区役所屋内、外で福祉まつり実行委員会主催のもと高校生フェスティバル群舞、訴えから始まり人形劇、新民踊フラダンス、手話コーラス、落語、マジック紙芝居等出し物盛り沢山のプログラムが組まれました。屋外では福祉バザー、模擬店遊びコーナー等食べ飲み遊び買うと盛況のなか、昭和鯨城会は駐輪場にて土鈴の絵付け教室、これは今年も人気が高く好評でした。又心ある有志の寄贈品の陶芸作品の販売は例年お値打ち品沢山の為販売開始前より真剣に品定めされる方あり毎年完売です。この売上げ金は全て福祉団体に寄付しています。最後は講堂ステージに福祉まつり実行委員会メ

ンバー全員が壇上に集合し、手のひらを太陽にを大合唱し幕を閉じました。暑さ厳しきなか皆さんのボランティアに感謝します。“ありがとう”(24期・福祉)



絵付け教室準備完了 ひとやすみ



## ボランティア活動で思うこと

—瑞穂区— 瑞穂鯨城会

ボランティア委員長 藤田 芳孝

瑞穂鯨城会ボランティア活動の基本方針は「ボランティア活動を通して、楽しみ・満足感（充実感）を、そして更なる人の輪の拡大」とあります。

この基本方針に従って今まで先輩方が培ってこられた活動をより充実し、積極的に取り組むべく、本年度のモットーとして「一人でも多くの方への声を！」と唱えながらご協力をお願いしています。

### 区会の主なボランティア活動

- ・瑞穂運動公園、山下通周辺の清掃美化運動。
- ・瑞穂区内の主道路の歩道清掃美化運動。
- ・瑞穂区在宅サービスセンターの日曜日貸し室管理。

・市総合リハビリテーションセンターでのリハビリ患者さんの散歩同行。

・古切手、テレカ（使用済）の収集。

毎月約150名の会員の方々が活動しています。活動への参加者を募るには、全会員は勿論のこと、特に同期の方々の意識とコミュニケーションが一番大切かと感じます。

現在在校生への地域ミーティングが開催されていますが、2～3回の面識だけでは意思疎通は難しいと思います。

そこで、在校生の方だけで授業の一環として月1回同区の集会を開催し、区の仲間として卒業されることが区会活動呼び掛けへの第一歩かと思っています。

### 瑞穂運動公園・山下通周辺の清掃美化活動

#### \*活動のあらまし

毎月第2水曜日。午前8時～9時迄。清掃及び除草活動。

活動開始前に各部門の行事PRや会員相互のコミュニケーションの場に活用しながら、毎月40人前後の参加をいただき、区会お揃いのベストと帽子を着用して、清掃美化活動を行い、終了後は瑞穂保健所指導の「健康ささえ隊」の先導のもと「みずほ体操」を行って、活動後の疲れた体をほぐしていただき、健康づくりにも役立てていただき、楽しく活動しています。



瑞穂公園・山下通周辺の清掃美化活動後の集合写真

### 市総合リハビリテーションセンターでの患者さん《散歩》同行ボラ活動



センター構内での散歩同行活動

#### \*活動のあらまし

平成23年5月より毎週金曜日リハビリ患者さんの散歩同行のみの活動となりました。患者さんには「いたわり」「思いやり」「はげまし」の気持で接し、患者さんの気分転換とコミュニケーションをはかりながら、センターの構内の散歩コースを一周約20分で2組、合計約40分の活動です。

活動する時は区会のベストと帽子を着用します。  
(24期・文化A)



# なごやかハウス横田デイサービスセンター介護ボランティア活動

—熱田区— 熱田鯨城会

ボランティア担当 石田 弘

当区会では、このボランティア活動を平成22年から開始しました。

22年度の登録参加者は16名で始まり、本年度は27名と年々増加しています。

## 活動内容

- 1 室内活動は10時から11時半まで。主に風呂上りの髪を乾かすドライヤーがけです。お話し相手・お茶出し等もします。時にはトランプや将棋のお相手、と一緒に童謡を歌ったりして、少しでも楽しい一時を過ごしていただけたらと思っています。
- 2 外出活動は13時から15時まで。職員と共に外出時の車イス押しや歩行の手助けです。外出場所は、大須の商店街・熱田神宮・鶴舞公園・えびせんべいの里等不定期で利用者の方々と共に遠足気分に参加しています。
- 3 毎年7月には、夏祭りのお手伝いをしています。盆踊りの会場づくりや水風船釣りのお相手。模擬屋台ではミニどら焼き、つく

ねの焼き鳥、ウインナー焼き等を作ります。利用者、ご家族の方に提供し、楽しんでいただいています。他の地域ボランティアとの職員の交流行事に毎回10名程度参加しています。

施設からはボランティアの方が見えて一声かけて頂く事が、職員とは違う触れ合いがあり、皆さん喜んでいまして感謝されています。

(24期・生活A)



デイサービスセンター介護ボランティア活動

## 土鈴・絵馬の素材作りでボランティア活動

花しょうぶ編集委員 柴田 泰子

熱田鯨城会は平成12年から土鈴・絵馬の素材作りを行っています。毎年7月には新入会員を中心に約20名が美術室に集まり、高年大学卒業生が先生となり、土鈴・絵馬の作り方を指導していただいています。新入会員は初めての経験であり、又他の人も1年ぶりに土の感覚を思い出し、和気あいあいの内午前中かけて土鈴・絵馬200個を作ります。乾燥後素焼きして完成品にします。

秋に行われる熱田生涯学習祭りでは来場の方々に素焼きの絵馬・土鈴を200円で買ってもらい、絵付けをした後ドライヤーで乾かし完成品としてお渡ししています。絵付けには来年の干支を書く方が多く、毎年買い求める事を楽しみにされている方も多くいます。世界に一つだけの土鈴を振り、音色を楽しみ笑顔が広がります。お買い頂いた収益金は年末に熱田社会福祉協議会に寄付しています。また同時期に区役所で開か

れるあったか福祉フェスタでは無料で土鈴・絵馬に絵付けして頂き、完成品を手にとられた皆さんに喜ばれています。毎回盛況でテントの外まで人があふれます。

熱田鯨城会が存続する限り、先輩から後輩へと受け継がれ、誇る事の出来るボランティアとして継続される事を希望します。(24期・地域)



土鈴・絵馬の素材作り



## 地域行事等に活躍する清掃活動

一中川区一 中川鯨城会

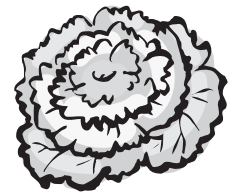
社会奉仕委員長 奥村善則

中川鯨城会独自の定期的清掃活動に加えて、地域行事等にも積極的に参加し、清掃活動を行い地域の方々から感謝の言葉を多く頂いています。これらの行事には全市一斉のクリーンキャンペーン、福祉ふれあい祭り、区民まつりや夏祭りなどで活躍しています。特に祭りの楽しい雰囲気配慮して、



地域行事等に活躍する清掃活動

巡回清掃回数の増減やゴミの分別のお手伝いなど、多方面にわたり少人数編成で複数班に分かれ清掃活動を行っています。清掃活動は日頃から実施していることから皆さんの活動は手際がよく、スムーズで確実な作業には定評があります。これらの地域活動はもっとも大切な活動であり、今後も積極的に参加していきます。



## 違反広告物の除去と清掃活動

町を美しく住みやすくする運動の一環として、道路上の違反広告物をなくすために、名古屋市長の認定と違反広告物の除去権限の委託を受けて活動をしています。これは市の条例に規程されている「はり紙」「はり札等」「立て看板等」が対象です。この活動の初期には、「立て看板」を除去しましたが、最近では「はり紙」「はり札」の除去が殆どです。これらの貼付場所には特徴があります。それはよく目立つ場所、すなわち人が比較的良好に集まる場所やよく通行する所で、交差点付近、駅周辺やスーパーマーケット近くなどの電柱などが殆どです。これらは日頃から巡回して見つけたら、すぐ除去することが大切です。また「立て看板」や「のぼり旗」などは設置者にまず警告を行い、それでも除去されない時は強制的に除去しています。この活動に併せて、路上のゴミなどを収集し、定期的に場所と時間を決めて活動を実施しています。(18期・環境)



違反広告物の除去と清掃活動



## ボランティアとあそぼ!! に参加して

—港区— 港鯨城会

社会奉仕活動委員長 榊原信義

今年で9回目を迎える「ボランティアとあそぼ!!」が8月5日、港区在宅サービスセンターで開催され、港区ボランティア連絡協議会に加入している団体、個人を含めた22グループが参加しました。地域の子どもから高齢者、障害者の方達とボランティア達が楽しみながら交流する会です。港鯨城会は今年度からこのグループに登録加入致しました。そこで早速お手伝いをさせて頂く為に男女各4人ずつの8名で参加。会場は1階から3階で、各グループのPRや体験コーナー、防災講座やクイズ、ミニ抽選会など多彩な催しに加え、水ふうせん、キャンディすくい、そうめん、呈茶コーナーの模擬店が有り多くの人を楽しめる様に工夫されていました。男性4人は呈茶コーナーのウェーターです。初めての接客に戸惑いながらも約5時間ミスもなく終わりほっと一息!!女性4人はそうめんを提

供するコーナーで頑張りました。暑い中そうめんを茹でたり、おつゆや薬味の用意等、時には行列の出来ることも、忙しい中にも楽しいひと時だったそうです。次回は港鯨城会独自のコーナーで地域の方々と交流したいと思って居ります。



ボランティアとあそぼ!! に参加して

## とだがわ、オリンピック、ボランティア活動

8月25、26日の両日“めざせ金メダル!!”とだがわオリンピックが開催され、港鯨城会から40名がボランティアとして参加しました。スポーツラリーに挑戦し楽しく遊びながら金メダルをゲットしようとの趣旨で、ホールの中に



とだがわオリンピック ボランティア活動

野球、サッカー、カーリング、ゴルフの4つのスポーツが体験出来るようにセットされ、ルールは30点満点で15点以上の得点で金メダルをゲット。私達は午前午後で10名ずつで各部門の点数の記録、競技のサポートやリセットの役目、参加者は2才位から小学生、多くは親子づれや家族づれで、我が子や孫の一挙一動にあちらこちらから歓声や溜め息でホールの中は熱気に包まれ冷房の効果も弱まる程でした。頑張っで15点以上の子は金メダルを係の人からおめでとうの言葉と共に首にかけて貰い思わずにっこり、その姿にカメラを向けるお父さんやお母さん、微笑ましい光景でした。因みに2日間のラリー挑戦者は25日が559名、26日は691名と大盛況でした。メダルを取った子、取れなかった子それぞれ一生懸命挑戦した結果に満足した事と思います。港鯨城会の皆様暑い中本当にお疲れさまでした。(23期・福祉)





## 「おもちゃの銀行（はっぴーらびっと）」

一南区一 南鯉城会(こなみ会)

ボランティア担当 森 晴 生



おもちゃの銀行

鯉城会のボランティア活動の中でも特異な活動であります「おもちゃの銀行」は、平成12年に、地域の方々と密着をした活動ができないかを模索する中、おもちゃ図書館「びっころ」の代表者の武田様に相談をし、この団体の枝葉として10月に開設しました。毎週日曜日午後1時～3時までの2時間活動しています。

おもちゃの銀行とは 1. 無償で提供していただく。 2. 保管されているおもちゃと交換をするが主な内容となっています。現在14名で活動していますが、近年世相が変わり、運営にも難しい面が多く出始めていますが、ESD「ユネスコ」の世界会議が、2014年秋に愛知と名古屋で開催されます。今後も【よみがえれ、眠れるおもちゃ達】をモットーに「環境デーなごや2012」に出展をしたりして活動を続けていきたいと思っています。皆様の御家庭で無償提供して頂けるおもちゃがありましたら宜しくお願いいたします。

## 「心の絆創膏配布ボランティア活動」

この活動は、名古屋市が実施する、うつ病に関する正しい知識を啓発し、相談機関等への相談を促す事で悩みの解決につなげる事等を目的に、又これらの悩みを抱えた人々の心の傷を手当する事等の主旨に賛同をし、このキャンペーンに参加しています。

南鯉城会は、JR 笠寺駅前と金山総合駅北口の2ヶ所で配布を行いました。JR 笠寺駅前では6名が早朝より出勤者に配布を行い、金山総合駅北口では7名が夕方の帰宅者等に配布を行いました。人と人との絆の大切さを痛感し、次回配布も是非参加していきたいと思っています。

(24期・国際)



心の絆創膏配布ボランティア活動





# 名古屋市玉野川学園生徒交流会、花壇、農園管理活動

一守山区一 守山鯨城会

ボランティア委員長 臼井 博

名古屋市玉野川学園は志段味地区にあり、敷地 69857 m<sup>2</sup>、児童福祉法第 44 条に基づく児童福祉施設（自立支援施設）

花壇管理活動 花壇は学園入口（写真）と中央管理棟の周囲 3ヶ所あります。

会員有志がマリーゴールド等の苗を育て、年数回植替え、月 2 回の定例会、夏は週 2 回当番で花殻取り、水掛け、草取りなどの管理を 30 数名参加して一年中立派な花が咲いているように管理しております。

生徒交流会 年 4 回 10 数名が参加して、生徒と一緒に 5 月にはサツマ芋の苗を

60 本、9 月にはホーレン草の種を 6 畝まきました。学園の行事に年数回招待され、春の花見会など参加、学園生徒との交流を行っております。



名古屋市玉野川学園入口花壇の水掛け

## 守山市民病院の花壇、緑化、樹木管理活動

ゴーヤのみどりのカーテンづくり。病院の正面（南側）と西側に 5 月ゴーヤの苗を植えました。順調に大きく育って 8 月には写真のように 1 階全面に緑のカーテンで日陰ができております。



守山市民病院・緑のカーテン（ゴーヤ）

花壇管理活動 7 月に空プランター 19 個に秋から春用に、ひまわり、コスモス、ビオラなどの種をまいて育てております。

樹木の剪定 病院周囲の樹木の剪定を 10 月に予定しております。

奇数月に 10 数名参加して定期的に、事前に病院側と打合せして花壇管理、緑化、樹木管理などに取組んで、病院周囲の環境維持に努めております。（24 期・園芸）





## 「楽しくボランティア」

—緑区— 緑鯨城会

ボランティア委員長 山田 恵美子

緑鯨城会は、会員数 353 名という大所帯です。「楽しくボランティア」をモットーに次のようなボランティア活動を進めています。

### 1 清掃活動

新海池公園に加えて5月から徳重地区の要池公園でも清掃活動を始めました。

### 2 特養老人ホームボランティア

特養老人ホーム「かきつばたの里」喫茶室の手伝い。毎週水・金曜日 40 名程の会員が3~4 名づつ交代で当番にあたっています。

### 3 雑巾ボランティア

毎年、1000 枚以上を目標に収集し、年末に社協を通じて区内の福祉施設へ贈呈しています。また、雑巾を縫って下さる方も7名の申し出があり、随時協力をお願いしています。

その他緑区クリーンキャンペーンや緑市民病院のボランティア・名古屋市や社協から依頼のボランティア活動等に随時参加しています。

「情は人の為ならず」「ボランティアは人の為ならず」無理しないで、できる範囲で、より多くの会員の皆様にボランティア活動を楽しんでいただけたらと思います。

(23 期・環境)



要池公園ボランティア活動



「かきつばたの里」喫茶室のお手伝い





# 老人保健施設入所者の車椅子のボランティア活動

一名東区一 名東鯨友会

ボランティア担当 駒田 泰一

好天に恵まれた5月13日、名東鯨友会のボランティアグループの一つである「ライラックの会」の支援先の一つでもある名東老人保健施設（以下老健という）よりの要請で名古屋農業センターへ出掛けた。老健に入所の方や通所の方々30名に対し、我が鯨友会の5名と他のボランティア団体、老健の介護士及び職員が同行し、同センター内を散策した。昨年度も老健より牧野ヶ池の散策を要請されたが、雨降りで見ることが出来なかった。今回は、満を持しての活動であった。温室での多様なベゴニアの花や生まれて2、3ヶ月の子豚を見たり、放牧されている乳牛を見たり、車椅子の人達は、日常外出が出来ない為、このように大気に触れ、新緑を目にし、広々とした場所を散策することに喜びを感じられたことと思う。私が担当した前田さんという方はもうすぐ卒寿とか。老健には6年間世話になっているという。クモ膜下出血の後遺症

で下肢と右手が不自由であるが、顔色の艶もよく喜寿といっても通りそうな人であった。農業センター内の起伏の多い路面は、車椅子を操作するにも四苦八苦であり、日頃使わない筋肉を使って正直しんどい思いをした。最後に入所者や職員さん等に感謝の言葉をもらい現地解散した。いつもボランティア活動に協力してくれている鯨友会の会員の皆さんと共に今日も有意義なボランティア活動ができた事に感謝したい。

(23期・文化A)



施設入所者の車いすのボランティア活動

## 星ヶ丘「有料老人ホーム俳句教室の活動状況」

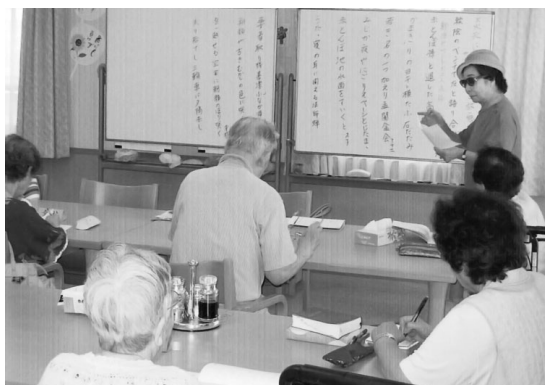
名東鯨友会ライラック 城 志 な

ライラックの花言葉は友愛です。24年を迎えることが出来ました。老人福祉施設5ヶ所養護児童施設1ヶ所、俳句教室が4ヶ所、書道2ヶ所他、カラオケ囲碁1ヶ所を80名のボランティアがそれぞれに分かれて活動をしています。その中の星ヶ丘有料老人ホーム俳句教室を紹介します。俳句教室は平成18年に開設しました。参加者は6名～10名です。俳句は、その月毎の兼題に依り一人二句作句して本題に入り、そ

の俳句を黒板に書きあげ勉強に入っていきます。読みあげてみるとその俳句の中に或る一つの舞台が浮かんできます。作者の意図が何であるか、先ずこの点をしっかりつかむ必要があります。俳句は五七五の十七音節からなり季語を読み入れる短詩です。表現とか用語・切り字の用法、一字の重みの大切さを学び詩型をととのえ、その一つを添削し、無駄を省き不足を加えてより良くする、誤りの点を指摘してその物を完成するまでの事を先生が解り易く話します。完成された句を其の場で書道の先生が短冊に書きあげ一枚は施設に保存、一枚は本人に手渡し一人ひとり声をあげ読みあげる表情と笑顔から参加者の達成感が伝わってきます。コーヒー、お菓子を食べながら談笑して今日の勉強会の明るく和やかに終わった事を喜び合い散会致します。

私は、俳句を通しボランティア活動に助力することで己の人生に学ぶべきものを発見出来たことを感謝いたします。

(23期・福祉)



俳句教室



# 養護老人ホーム 《誠和荘・盛大な七夕祭り》

—天白区— 天白こじょう会

ボランティア担当 松 永 登志子

東山植物園の丘陵地帯に連なり東山テニスコート場の東南に位置し静寂、132号線に近く環境よく緑豊かにし空気が美味しく庭園には桜の木が茂り緑鮮やかな樹々があり、門を入ると2本の立派な七夕飾りが迎えてくれました。年3回訪問しております区会の何時のメンバー12名で参加し模擬店も回を重ねているので要領も良く分り職員の皆様・利用者の皆様の馴染の顔もあり一体感が生まれ笑みがはじけます。

1 平成24・7・5 PM15:00~16:30

2 ピロティ及び駐車場

A昔懐かしい駄菓子=各種販売コーナー

Bゲームコーナー=ボール投げ・輪投げ・魚釣り・ポケネット・ピンボール

Cカラオケコーナー=男の船出・越美南線

D屋台コーナー=アイス・コーン・わらび餅

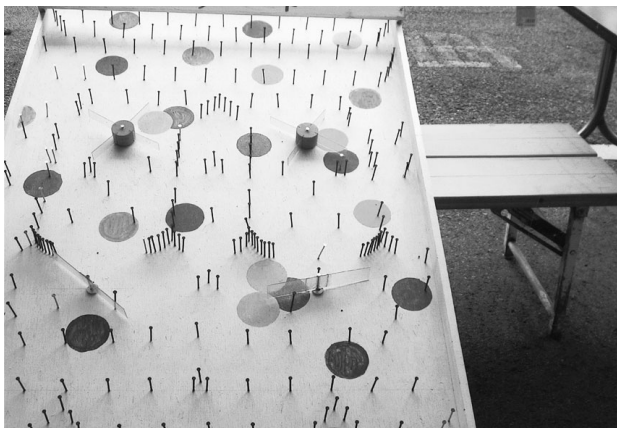
恒例の七夕祭りが始まり8m余の立派な七夕飾りの元で元気な利用者さん車イスで頑張る利用者さんご家族の皆様・近隣の皆様・招待された幼稚園の皆様が参加されました。

ゲームコーナーに於いてワイワイ・ガヤガヤ☆当たりが出て奇声があがり☆玉が入って奇声があがり☆歌声が響き渡り時が過ぎるのも忘れ和気あいあいと夕べのひと時が過ぎ去りました。幼稚園の生徒さん達は景品を手利用者の皆様に見送られおばあさん有難うおじいさん有難うと後を振り返り嬉しそうに帰られました。

悲喜こもごも終りの時が近づき満面の笑みの人、景品を手喜び人、ガッカリした人、ストレス解消した人、楽しんだ人と様々な思いを胸に荘長の閉会挨拶で幕を閉じました。 (23期・文化B)



盛大な七夕祭り



ゲームコーナーピンボール



## 公開講演会を終えて

行事委員長 西 薊

7月5日の大島先生「長寿の国を診る」公開講演会を、無事おえられましたことは、ひとえに皆様方のご支援の賜物と、厚く御礼申し上げます。

皆様方多数のご来場により、大島先生のお話にも熱が入り、大変なご好評だったことありがとうございます。

大島先生はお忙しいお方で、講演後直ちに新幹線出張されましたことを、お知らせしておきます。今回のアンケートの回収が聴講入場者530名の内420名で77%と非常に高い率だったことで、色々な意見を聞くことが出来、今後の参考になりました。批判もありましたが、アンケートからは今回の講演会について84%の方が大変良い、良いと言われたので、鯨城会行事委員会としては良かったと思っています。



前向きなご意見から

1. 質疑応答の時間がほしかった（大島先生に時間がなかった）
2. また続編が聞きたい
3. 長寿で健康でありたい
4. レジュメがほしかった
5. 解り易く良かった
6. 高齢者医療が転換点に来ている
7. 高齢者の出来るボランティアを考え、実行したい

次回講演会の講師についても色々なご意見を聞くことが出来ましたが、皆様方からもどしどし推薦を頂きたいと思っています。

公開講演会の始めから終わりまで、大変なお世話を頂きました、鯨城学園の先生方、鯨城会代議員の皆様、幹事会の皆様にも厚く御礼申し上げます。

ありがとうございました。（23期・園芸）



# 納涼健康講座「イキイキ健康・いきいき長寿」の開催報告とお礼

名古屋市高年大学 鯉城学園 事務長 渡邊 文邦

今年も3回目となる納涼健康講座を開催しました。今回、健康に関わる様々な面から楽しく聴ける講座をと開催をいたしましたところ、5日間合計で延べ1,640名の皆様に暑い中お越しいただき、大変盛況でした。特に鯉城会の皆様には多数おいでいただき、また、役員の皆様には労を厭わず会場のお手伝いもしていただきまして、誠にありがとうございました。

右記にアンケート結果をお伝えして、開催の報告とさせていただきます。今後とも皆様に喜んでいただける講座を企画いたしますので、ご期待ください。本当にありがとうございました。



## 納涼健康講座アンケート結果

あなたは			年齢		
一般市民	454	35.8	50代	12	0.9
本学園の学生	269	21.2	60代	510	40.3
本学園の卒業生	460	36.3	70代	625	49.3
聴講生	84	6.6	80代	120	9.5
無回答	—	—	無回答	—	—
性別					
男性	486	38.4			
女性	781	61.6			
無回答	—	—			
この健康講座をどちらでお知りになりましたか。(複数回答あり)					
チラシ	306	21.7	鯉城ニュース	499	35.3
新聞	80	5.7	ホームページ	79	5.5
広報なごや	193	13.7	知人・友人	182	12.9
その他	73	5.2	無回答	—	—
講師の選定について			講演内容について		
良かった	1009	79.6	良かった	996	78.6
普通	212	16.7	普通	212	16.7
悪かった	16	1.3	悪かった	19	1.5
無回答	30	2.4	無回答	40	3.2
お褒めのご意見(主なもの)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若々しく生きるヒントになりました。</li> <li>・専門的分野でも分かり易い説明でした。</li> <li>・講演と歌に踊りとバラエティに富んで、心身ともに癒やされました。</li> <li>・今日から自分にも取り入れ、明るく暮らしたい。</li> <li>・継続できる具体的内容があり実行したい。</li> <li>・もう一度聞きたい講座がありました。</li> </ul>					
お叱り、ご要望等(主なもの)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ときどき声が小さく聞こえない時があった。</li> <li>・当日の資料の字が小さかった。</li> <li>・質問時間があるともっと良かった。</li> <li>・今後もこのような講座を期待する。毎年、楽しみにしている。</li> </ul>					

## 納涼健康講座を聴講して

24期 美術学科 豊田 悦造

納涼講座『笑いは百薬の長・ユーモア療法の世界』と題した講演を、8月2日(木)に聴講しての感想です。講師は、関西大学人間健康学部教授で「日本笑い学会」会長の森下伸也様でした。まずは、声の出し方の練習開始、会場全員参加で発声。

① 狂言の笑……ハアー、ハハハ 最初は大きく声を出す

② 人間浄瑠璃…ハハハハ ハハワハハハ 最初小さく後は大きく声を出す

大阪名物 文楽劇場が橋下徹市長の判断で補助金がなくなりそうだ。笑いに対する、また古典芸能に理解がなく教養がないとこき下ろして始まる。

日本の笑い学会には医者、看護師、薬剤師が多く健康によいユーモア療法を実践、なかでも、四国支部長は医者で落語家、桂 善治の芸名で月1回病院寄席を開演、これで笑うと退院となる。誰でもPPK(ピンピンコロリ)がいいと思うが人生思うようにならないのが常である。

笑いはNK細胞を活性化させてガンの進行を遅らせる。NK細胞は文字通り生まれつきの殺し屋、殺傷力が高く常に体内をパトロールし、ガン細胞などを見つくと単独で直接殺す。白血球全体の15~20%の割合で存在する。免疫プラザによれば笑いはNK細胞の活性化に良い影響を与えるとしている。ストレスがたまるとNK細胞の活力が低下する。そのような時、笑いはこれをよくする。また「笑う門には福来る」が実際どう医学的作用があるかの実験結果についても漫才を聞いて笑った後に血液検査の結果免疫成分が増加していることがわかった。

免疫療法剤(抗がん剤)には副作用があるが、笑いにはない。薬は高価であるが、笑いはお金がかからない。副作用がない、お金がかからない、自分で笑うため鏡を見て笑うもよい。そこで、日本笑い学会のホームページを検索してみると、「よく笑い・よく学べ中部支部笑例会」への入会案内を含め活動計画等がありました。皆さん、参加してみてもはどうでしょう。

# 第8回鯨城会グラウンド・ゴルフ交歓会成績表

平成24年9月24日(月) 鶴舞陸上競技場 区会活動委員長 原田 浩治



	順位	氏名	区	2ラウンド(16ホール)	
				1打回数	合計打数
Aゾーン	優勝	蓬菜 賢	名東	2	34
	準優勝	伊藤 深雪	中	1	40
	3位	武藤 勝一	熱田	1	41
	4位	伊藤照之輔	天白	1	41
	5位	眞島 龍雄	南	1	42
Bゾーン	優勝	別府 輝年	西	3	31
	準優勝	久米 昌孝	千種	2	37
	3位	西脇恵美子	北	1	37
	4位	近藤 信雄	西	0	37
	5位	大槻 義壽	緑	1	39
Cゾーン	優勝	佐治 弘	千種	2	28
	準優勝	蓼沼 繁	守山	2	34
	3位	中岡 正道	昭和	2	34
	4位	川西 嘉宏	瑞穂	1	39
	5位	鶴瀬 邦彦	守山	1	40
Dゾーン	優勝	鈴木眞壽男	天白	2	38
	準優勝	西川 克己	港	1	41
	3位	鬼頭 鎮文	中川	1	41
	4位	福井五三六	緑	1	41
	5位	奥田 靖男	名東	1	42

## 平成25年度 鯨城会会長立候補届について

- 1) 立候補期間 平成24年12月1日(土)～平成24年12月10日(月)
- 2) 届出先 平成24年度鯨城会会長(総務委員長経由)
- 3) 立候補資格 被選挙人は、区会役員経験者または本会幹事経験者のうち、立候補または区会もしくは幹事会による被推薦者とする。但し学園卒業後5年以内(就任時)の会員とする。
- 4) 届出書式 下記の届出書をコピーしてご利用ください。

### 鯨城会会長立候補届出書

平成24年12月 日

鯨城会会長様

私は平成25年度鯨城会会長に立候補します。

立候補者	氏名	
	卒業期・学科	期 学科 組



# 鯨城学園図書室のボランティア活動と図書寄贈

図書ボランティア 桧山 邦夫

鯨城会で学園の図書室運営ボランティアの活動を始めて、今年度で3年目になります。初年度は各区会単位で当番制にて実施しておりましたが、2年目からは各区会のご協力を頂き、個人単位で登録しボランティア活動を開始しました。

当初はミスも多かったが、学園の先生方の暖かいご指導により起動にのり、現在は順調にボランティア活動を実施しており、関係者のご協力に感謝致します。おかげさまでボランティア活動始めてから、OBの方々の図書室の来場者は1.4倍になり、図書室稼働率向上に寄与し、学園からも喜ばれております。

昨年度は図書室運営に対する協力金の一部から、毎月図書の寄贈をさせて頂きトータルで77冊になり、多くの鯨城会員や学生にご利用頂いております。今年度も毎月寄贈しておりますので、皆さま方でお読みになりたい本があり

ましたら、ボランティア員にお話しを頂ければ対応出来ますので、ぜひ活用下さい。

今後も図書室運営ボランティア活動を通して、学園を盛り上げていくつもりですので、会員の皆さま方の今以上の活発な図書室利用をお願い申し上げます。(22期・生活A)



学園の図書室は、平成22年度から鯨城会の図書ボランティア50名の皆様によって運営されています。また、昨年からは毎月新刊図書の寄贈もしていただき物心両面でお支え頂いております。ご多忙のところ、学園にお越しいただき、図書室の運営にご尽力くださいますボランティアの皆様に感謝するとともに衷心よりお礼申し上げます。(鯨城学園図書室担当 百草草信夫)



鯨城学園図書室

## 表紙説明

### 熱田神宮 舞楽神事（ぶがくしんじ）

新緑に映える平安の雅。毎年5月1日に熱田神宮社殿で行われる古式ゆかしい舞楽神事です。熱田神宮の社伝によると平安時代初期、すでに当神社で行われていたそうで、神楽殿前庭に朱塗りの高舞台を設け、この日一日舞楽を熱田の大神様に奉納されます。

今年は好天にめぐまれ多数の拝観者に埋め尽くされ、初夏のさわやかな風の中、皆さま熱心に拝観されていました。当日の演者は神宮の職員の方および雅楽奉仕団体の会員の皆様によるものだそうです。演目は全部で九曲、舞人は笙ひちりきの音に合わせその舞ぶりは森の新緑に映えて優雅にそして美しく、いやがうえにも大勢の拝観者を王朝絵巻の世界へと誘い込む感がありました。

撮影 文 藤堂真司人（24期・文化B）



## 計 報

平成24年4月1日～平成24年9月30日届出

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。（敬称略）

児玉 薫（16期文化B）	24・4・20	古庄 健治（22期陶芸）	24・6・23
杉田 繁（20期地域）	24・5・6	山田 鈿郎（3期生活）	24・7・1
北川 銹三（9期文化A）	24・6・4	木村 弘（16期地域）	24・8・17



## 編集後記

本号も多くの皆さまのご協力を賜りましたことを厚くお礼申し上げます。

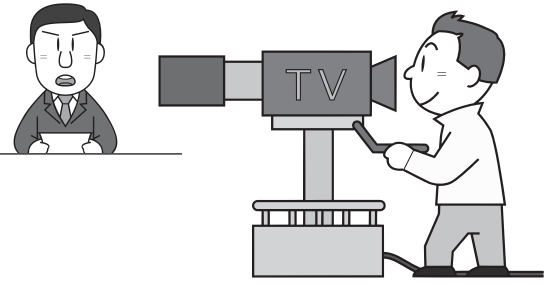
この夏、日本中が沸いたロンドンオリンピック。史上最高の数のメダルを獲得した日本選手の活躍に私たちも熱狂しました。「熱い感動をありがとう」。

「鯨城ニュース」23号の表紙を飾る写真提供は熱田区の担当であります。5月1日「舞楽神事」においてカメラによる連続撮影のうちのひとコマですが、舞人の“躍動感”ある「舞楽神事」が表紙として出来上がりました。

23号編集の目玉は鯨城会・学園・学生会が一体となり実行してまいりましたボランティア行事「堀川清掃大作戦」「鶴舞公園・クリーンキャンペーン」には大勢の参加者を得て盛大でありました。このボランティア活動を核として、更に各区の鯨城会における独自の企画運営によるボランティア活動状況を「特集」として編集してまいりました。

広報委員 佐藤幸男・阿比留志づ子・高野義英・森山宣征・深尾芳彦・梅田国清・岩井海南子  
多川裕弘（ホームページ担当）

第27回 公開講演会



# 私の体験的 テレビジャーナリズム ～日米文化比較の視点から～



講師

中京テレビ放送  
常勤監査役

吉澤和秀氏

## 『講師プロフィール』

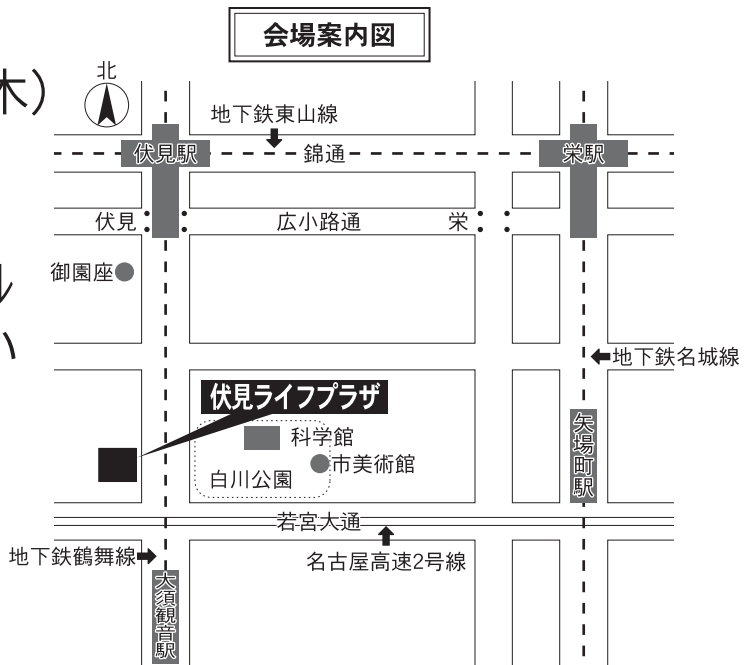
昭和25年10月生まれ62歳

## 略歴

昭和48年 中京テレビ放送入社  
昭和56年 NNNワシントン特派員  
昭和60年 報道局報道部  
平成6年 報道局報道部長  
平成9年 東京支社編成業務部長  
平成15年 東京支社次長  
平成17年 編成局長  
平成19年 取締役経理局長  
平成22年 取締役報道局長  
平成23年 常勤監査役 現在に至る

- ◇月 日 平成24年12月6日(木)
- ◇開 場 12:30
- ◇開 演 13:30～15:00
- ◇場 所 伏見ライフプラザ5F鯉城ホール
- ◇入場無料 多数ご来場ください  
要約筆記・手話通訳も準備

主催 名古屋市高年大学 鯉城会  
お問い合わせ先 052-222-7521



# 第3回

# 鯉城OB文化祭

鯉城OB文化祭は、鯉城学園卒業生が、  
日頃の練習成果を皆様にご披露する場です。  
多くの方々のご来場をお待ちしています。

## 参加クラブ

- ◇ 鯉城民謡クラブ同好会
- ◇ こじょう混声合唱団
- ◇ こじょうオカリナクラブ
- ◇ 鯉城手話サークル「白ゆり会」
- ◇ フラダンス「プア・リリア」
- ◇ 手話ダンス・四季の会
- ◇ ぜに太鼓同好会
- ◇ 白川ハーモニック・クラブ
- ◇ 名古屋甚句同好会・甚鯉会<sup>じんしゃち</sup>
- ◇ 詩吟同好会
- ◇ 高年大学太極拳同好会
- ◇ フォークソング・歌おう会

以上12チームが出場します。ご期待下さい。 出演順序は未定です。

- ◇月 日 平成25年3月14日(木曜日)
- ◇開 場 10:00
- ◇開 演 10:30~16:00
- ◇場 所 伏見ライフプラザ  
(中消防署、階上)五階・鯉城ホール
- ◇入場無料 多数お誘いご来場ください

主催 名古屋市高年大学 鯉城会  
お問い合わせ先 052-222-7521

